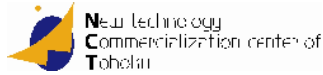


平成 21 年 10 月 21 日



東経連事業化センター情報

「産学マッチング F S 助成制度」の採択案件について ～新たに 3 件の助成を決定～

東経連事業化センター（会長・幕田圭一（社）東北経済連合会会長）では、技術シーズの事業化の可能性を調査する F S（フィージビリティ・スタディ）への助成を行っておりますが、このたび、産学マッチング委員会（委員長・高橋四郎 東北イノベーションキャピタル(株)取締役）での検討を受け、新たに 3 件の助成を決定しました。これにより、F S 助成制度の採択案件は合計 18 件となります。

「産学マッチング F S 助成制度」とは、大学等の技術シーズを対象として、事業化の可能性を評価する F S 調査のための資金を助成するもので、助成額は、東経連事業化センター、(独) 科学技術振興機構（J S T）がそれぞれ 100 万円、合計 200 万円が上限となります。

今後、産学マッチング委員会では、対象案件に対し F S 調査の資金助成を行うほか、事業化に向けた支援を実施してまいります。

今回採択された助成件名の概要は、別紙のとおりです。

なお、産学マッチング F S 助成事業は申込を随時受け付けております。

以 上

【本件についての照会先】

東経連事業化センター 西山、蓮江、大粒来 (TEL. 022-225-8561)

「産学マッチングFS助成制度」に採択された助成件名の概要

NO. 16	高耐熱合金部品バリ取り及びエッジ仕上げ技術の確立と自動機の開発
代表開発者	緑川 祐二 福島県ハイテクプラザ いわき技術支援センター 主任研究員
共同開発者	星 正憲 株式会社スター精機（相馬市） 社長
コーディネーター	磯 明夫 財団法人福島県産業振興センター 参事
助成金額	東経連事業化センター：100万円
助成期間	東経連事業化センター：平成21年11月～22年10月
課題概要	本研究は、機械加工発生時に発生するバリを短時間で除去し、精密なバリ取りと同時に高精度な面取りを行う加工技術の開発を行うものである。 従来、これらの作業は熟練者による手作業により行われており、高度な技術と多くの時間を要していたが、自動機を開発することにより、品質の安定とコストの削減が可能となる。

※高耐熱合金：航空・宇宙産業、原子力産業、自動車産業など、耐熱性が求められる様々な産業で利用されているインコネル、ハステロイなどの合金。

NO. 17	貴金属ナノコロイド触媒を用いためっき難素材へのめっき技術開発
代表開発者	清水 義博 株式会社ケディカ（仙台市） 取締役技術本部長
共同開発者	堀内 伸 独立行政法人産業技術総合研究所 主任研究員
コーディネーター	名川 吉信 独立行政法人産業技術総合研究所 産学官連携コーディネータ
助成金額	東経連事業化センター：100万円
助成期間	東経連事業化センター：平成21年10月～22年9月
課題概要	産業技術総合研究所が新たに開発した、表面処理不要でプラスチックに対する密着度の高い無電解めっき手法を活用し、めっき難素材（セラミック等）への応用可能性を研究するものである。従来の無電解めっき手法と比較して、エッチング等の表面処理不要、工程削減、シアン化合物やクロム酸等の環境汚染物質不使用などの優位性があり、本研究によりめっき難素材への展開を図ることで、プリント基板等の電子材料や医療機器部材などへの活用が期待されている。

NO. 18	高出力電磁調理器対応鋳鉄製厨房用品の開発
代表開発者	及川 秀春 及源鋳造株式会社（奥州市） 専務
共同開発者	圓山 重直 東北大学流体科学研究所 教授
共同開発者	久田 哲弥 宮城県産業技術総合センター 副主任研究員
コーディネーター	高橋 邦弘 東北大学流体科学研究所 特任教授
助成金額	東経連事業化センター：100万円
助成期間	東経連事業化センター：平成21年10月～22年9月
課題概要	近年の電磁調理器高出力化に伴い、従来は起きていなかった厨房用品（鍋）の変形が発生している。 本研究は、東北大学の圓山教授が長年取り組んでいる伝熱制御の知見を取り入れ、宮城県産業技術総合センターのシミュレーション技術を活用しながら、高出力電磁調理器対応の鋳鉄製鍋の開発を行うものである。

※電磁調理器出力の推移：数年前まで、電磁調理器のヒーター出力は2kWが主流であったが、近年では3kWが主流となっている。

(参考1)

東経連事業化センターの概要

1. 組織名 / 東経連事業化センター
(正式名称: 東北地域新規事業化支援センター)
2. 設立目的 / 東北地域の競争力強化に向けて、マーケティング支援をはじめとする新産業・新規事業の創出支援に東北地域の産学官の総合力を発揮して取り組み、地域イノベーション・システムの強化を図ること。
3. 組織形態 / 東北7県の企業支援機関、産学官連携機関、大手企業等を会員とする任意団体
4. 活動期間 / 5年間（平成18年4月～平成23年3月）
5. 活動経費 / 年間5千万円程度

以上

「産学マッチングFS助成制度」の概要

1. 目的

本制度は、東経連事業化センターが産学マッチング支援事業で支援する研究シーズ等に対して、「事業化の可能性を的確かつ迅速に評価するための試験等」(FS: フィージビリティ・スタディ)を行い、事業化を推進することを目的とする。本事業を契機に、国等の競争的資金への申請支援も併せて行う。

なお、本事業は、東北地域全体のイノベーション・システム構築に向け、東経連事業化センター、(株)インテリジェント・コスモス研究機構(ICR)、(独)科学技術振興機構(JST)が協力して実施する。

2. 申込対象

大学等の研究者、東北7県の企業

3. 対象となる技術シーズ

事業化のために可能性試験が必要となっている技術シーズとし、以下を条件とする。

- ① 当該シーズの事業化を目指す企業が存在することを基本とする。
- ② 当該シーズを導入することで従来製品に比べての優位性を示すデータが存在すること。
- ③ 事業化に向けて、特許取得済み、または権利化の可能性が高いこと。

4. 選考および結果の通知

評価基準(※)に基づき審査の上、当センター産学マッチング委員会での評価を経て採択有無を決定する。申込は随時受け付け、採択有無については2ヵ月程度で書面にて回答する。

(※) 評価基準

- ① 市場ニーズが高いシーズであること
- ② 事業化の可能性が高いシーズであること
- ③ 新規性・独創性があるシーズであること
- ④ 適切な研究計画で目標達成の可能性が高いこと

5. 助成金額

100～200万円。

当センター単独での助成金額は原則100万円を上限とする。ただし、原則100万円を上限に、併せてJSTの助成も受けることができる。

6. 応募手続き

「東経連事業化センターFS助成申込書」を当センターのホームページ(<http://www.nc-t.jp/>)からダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送で提出する。本申込書をもって併せてJSTからの助成にも申込みすることができる。

これまでの採択案件

※ (平成19年度採択①~⑦、平成20年度採択⑧~⑭、平成21年度案件⑮)

- ① 「ナノカーボンセメント面状発熱体製造技術の開発」
石巻専修大学 亀山教授、(株)ティーアールティー (石巻市)
- ② 「手術シミュレーション用口腔内モデルの開発」
東北大学 太田准教授、(有)テクノ・キャスト (大崎市)
- ③ 「電磁力を利用してネジ山をセラミック粒子分散強化したアルミ製ネジの開発」
東北大学 谷口教授、(株)日本セラテック (仙台市)
- ④ 「発毛効果を有するカキドオシ・エキスの研究開発」
秋田大学 杉山教授、(株)エーティー・ラボ (秋田市)
- ⑤ 「薄地炭素繊維織物とその積層織物の製造技術の開発」
福島県ハイテクプラザ 三浦研究員、齋藤産業(有) (川俣町)
- ⑥ 「ガス除去フィルタの開発とその応用」
東北文化学園大学 野崎教授、東スリーエス(株) (仙台市)
- ⑦ 「電力需要予測サービスに向けた先進的未來予測プログラムの開発」
(有)ザゼンソウ技術開発研究所 (盛岡市)、岩手大学 伊藤研究員
- ⑧ 「サケ頭部の未利用部位を高度有効活用した健康で大型の錦鯉の育成技術の開発」
北里大学 森山准教授、(株)丸辰カマスイ (釜石市) 山源錦鯉 (長岡市)
- ⑨ 「体外受精 (出生) 児のインプリント異常症診断システムの開発」
東北大学 有馬准教授、G&Gサイエンス(株) (福島市)
- ⑩ 「新野菜プチヴェールを利用した機能性食品の開発」
新潟薬科大学 西田助教、(株)ブルボン (柏崎市)
- ⑪ 「高機能めっき皮膜を用いた信頼性の高い電子基板の実用化」
山形県工業技術センター 三井専門研究員、(株)スズキハイテック (山形市)
- ⑫ 「表面改質技術を用いた超硬金型のクラックレス化」
新潟大学 田村准教授、新潟精機(株) (新潟市)
- ⑬ 「金属ガラスを使用した低温拡散接合による高精度加工技術の開発」
東北大学 横山准教授、東北学院大学 嶋准教授、
(株)WELCON (新潟市)
- ⑭ 「フォトリソグラフィ結晶を活用したインライン型高速薄膜測定機の開発」
仙台応用情報学研究振興財団 川上主幹研究員、凌和電子(株) (仙台市)
- ⑮ 「糖類 (単糖) を出発物質とする化学反応設計のための新規ソフトウェアの開発」
フロムシード(株) (仙台市)、東北大学 猪股教授